

田邊繁子 （たなべ はんこ） 法社會學者、法學博士。明治二十六年六月二十日京都  
生れ、昭和二十一年六月八日歿（一九三二六）。昭和二年同志社大學法  
學部卒。田邊平尊（建築學者）と結婚後上京、徳積會遠く師事し、古  
代インド法を研究。二十四年家庭裁判所調停委員、のち専修大學教授  
となる。

著書『女性の地位』（昭和二十四年二月）二十五日社會教育連合會「女  
性新書」）、『いとこ子と耐えてゆかむー戦争未亡人の叫び』（共編、  
昭和二十七年二月一日主婦之友社）、『タマの法典』（譯、昭和二十  
八年一月）二十五日岩波書店「岩波文庫」）、『婦人』（合著・山川菊  
栄編、昭和二十九年七月）二十日有斐閣「らくららりひ・とりひず」）、  
『娘・妻・母・未亡人ーその新しく生き方』（昭和二十一年四月十五  
日河出書房「河出新書」）、『女性と結婚』（合著、昭和二十一年五  
月二十一日河出書房「新しく女性」）等。